

消石灰による消毒時には 保護メガネ、手袋、マスクを 着用して作業しましょう！

事故事例

Aさんは肥料用消石灰を入れたバケツを持って作業しているうちに転んでしまい、消石灰を頭からかぶり、両目に入ってしまった。消石灰は強いアルカリ性のため皮膚などを深く傷めることがあります。Aさんは入院し治療を受けましたが、左目を失明されたという事例が本年発生しました。

◆消石灰とは？

消石灰は水酸化カルシウムの別名で強アルカリ性の物質です。

酸性土壌を中和するために肥料として利用される他、この強アルカリ性により、細菌、ウイルスに対する消毒効果が得られ、畜産農家の消毒資材の一種として利用されます。



◆消石灰の人への危険有害性は？

皮膚刺激

非常に重度の眼の損傷

気管や肺の障害

消石灰の吸入が長期わたり、反復すると肺に障害

◆消石灰使用時の注意点

眼に入らないよう保護メガネ（ゴーグルなど）をかける。

皮膚につかないように保護手袋を着用する。

吸入しないよう保護マスクを着用する。

◆応急処置

- ① 眼に入った時は、きれいな水で十分に洗い、すぐに医師の診断を受ける。
- ② 皮膚についた時は、水で十分洗う。吸い込んだ時は、うがいをする。気分が悪いときは医師の診断を受ける。
- ③ 飲み込んだ時は、口をすすぎ、医師の診断を受ける。

ご不明な点がございましたら、家畜保健衛生所までご連絡ください。